

今月は、2020年度のサンパウロ日本人学校の報告書を一部抜粋して、ご報告します。

1. 報告者学校名：サンパウロ日本人学校氏名：大谷文人（R 2 年度研究主任）

2. テーマ

- （１）サンパウロ日本人学校（以下：SP）、リオデジャネイロ日本人学校（以下：RJ）
合同研究主題 「多様性を受け入れ、柔軟で豊かなコミュニケーション力をもち、協働できる子どもの育成（高度グローバル人材の育成）」
- （２）遠隔教育（授業・研修）に関するプログラム開発

3. 目的と概要

（１）ブラジル国内にある両校の全校児童数は、R J 校が10名前後、S P 校が100名を超える。両校の学校の規模や状況はちがう。そこで両校間で「高度グローバル人材育成」のためにどのような研究が必要か、話し合いをした結果、必要となる柱が①「多様性を受け入れる。」、②「コミュニケーション力を身に付ける。」、③「協働できる。」の3つと考え、上記の研究主題を設定した。

具体的には以下のとおりである。

①→多様性とは、それぞれの違いを認め合うこと。

いろいろな考え方（バックボーン、文化、生活様式）があることを理解する。

ブラジルや世界で、互いの文化を大切にしていく。

②→情報を受け取る能力（聞く力）、伝える能力（言葉だけでなく、表情や動作等もふくめて）

互いを尊重し、折り合いをつけ、協働につながる話し合いを進める能力

③→お互いに意見を出し合い、目標を共有して活動していくことができる。

新たな自分に出会い、気づくことができる。

お互いの良さに気づき、共にそれを伸ばそうと努力することができる。

これらを児童生徒に身に付けさせ、「高度グローバル人材」を育成していくことが本研究の第一の目的である。

（２）日本人学校における高度グローバル人材の育成をめざし、日本人学校の教育の質を高めることを目的に、他の日本人学校（S P－R J）と連携して遠隔操作による教師研修や合同授業を実施し、その評価、成果等も含めて、プログラムを開発することを本研究のゴール（目的）とする。

（１）、（２）の目的のもと、両校間で共通のテーマをたて、それに基づいた研究を進めていく。

4. 今年度実施した取り組み

<遠隔研修>

(1) AG 5・4 校合同研修 (計 17 回 3 月にあと 1 回実施予定)

(2) S P R J 教員間授業見学

互いの時間割を連絡し合い、都合が合う時に相手校の授業実践の様子を見学した。

(3) S P R J 研究担当者会議

(4) S P R J 全体合同研修会

(5) S P R J 各部会での研修会

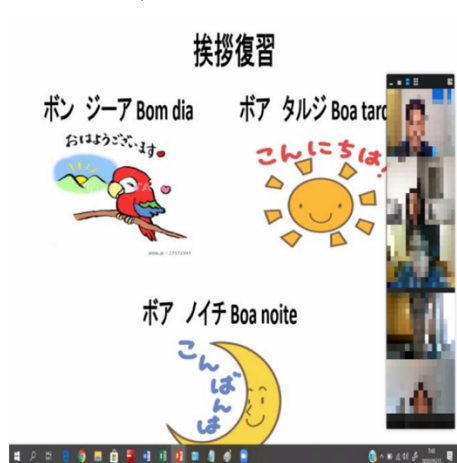
(6) 校内研修会

※ (2) ~ (6) は適時時間をとって行った。

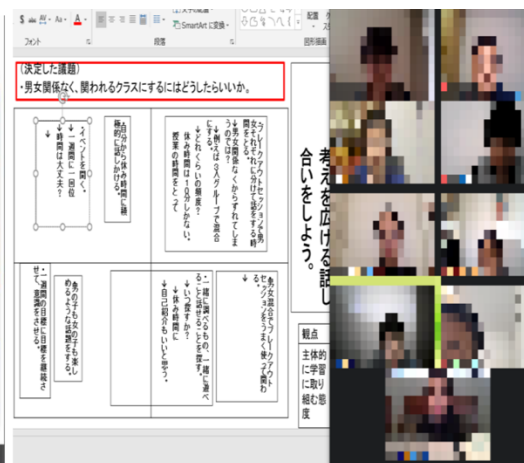
<遠隔授業>

(1) 自校での授業や学校行事

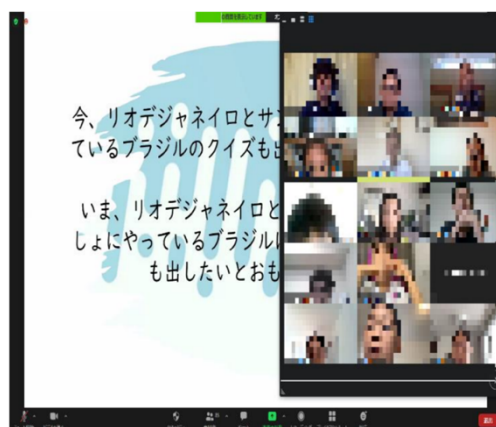
サンパウロ政府の方針を受け、今年度は校内における教育活動が 11 月より 2 時間の課外活動、2 月から学校での対面授業が始まった。しかし、どちらも児童数の何%という制限が決められていたため、結果的には一年を通してオンラインを主として授業を行った。自校の授業では Zoom ソフトを使い、学習を進めた。また入学式、始業式、終業式といった学校行事もオンラインで行った。



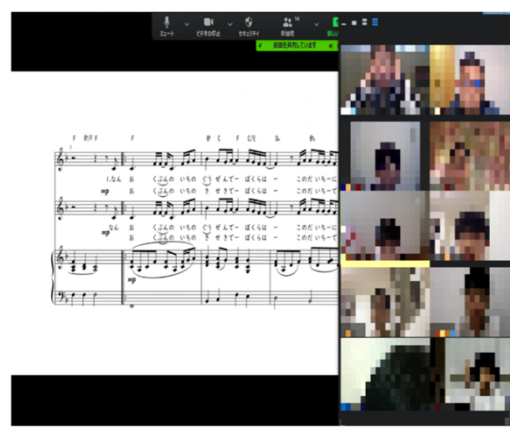
授業① (総合ブラジルの様子)



授業② (5年国語の様子)



授業③ (小学部祭・異学年交流活動)



授業④ (退学する児童とのお別れ合唱「希望の鐘」)

(2) 外部講師による職業講話

- ・ブラジル大使様による講話（小学部6年生）
- ・日本からのキャリア教育講話（中学部）
- ・パンタナールガイド湯川様による講話（中学部）

(3) 学校プロジェクト

- ・「校歌」プロジェクト
- ・「希望の鐘」プロジェクト

(4) S P R J 合同遠隔授業

今年度のS P R Jの合同研究は3つの部会（小学部低学年、小学部高学年、中学部）に分けて組織し、それぞれが授業実践をもとに研究を進めた。

【合同遠隔授業のテーマ】

「多様性を受け入れ、柔軟で豊かなコミュニケーション力をもち、協働できる子どもの育成」のための授業

①小学校低学年部会（小学1・2年国語）

（研究授業・2020年11月19日（木）実施）

単元名：「しらせたいな 見せたいな」

○実践の概要

リオデジャネイロ日本人学校1年生、サンパウロ日本人学校1・2年生合同で授業を実践した。本時は自分の学校や住む地域に関するクイズを相手校の児童と出し合うことを通して、相手意識をもって発言したり、ブラジルについての気づきや知識を広げたりすることを目標として実践を行った。



実践の様子①（教師による学習の流れの確認）

実践の様子②（相手校の児童が作ったクイズに答える。）



実践の様子③（相手校の児童が作ったクイズに答える。）

またリオデジャネイロ日本人学校は学校が既に再開、サンパウロ日本人学校は本格的な学校再開ができていなかったため、リオデジャネイロ日本人学校の児童は学校から、サンパウロ日本人学校の児童は各自宅からという授業形態をとった。

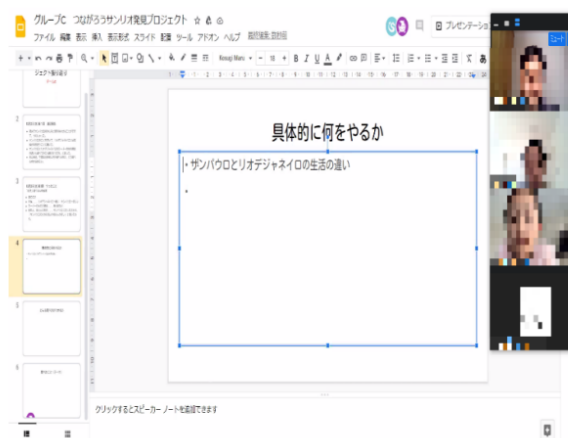
②小学校高学年部会（小学3～6年生総合的な学習の時間）

（研究授業・2021年2月10日（水）実施）

単元名：「つながろう、サン・リオ発見プロジェクト」

○実践の概要

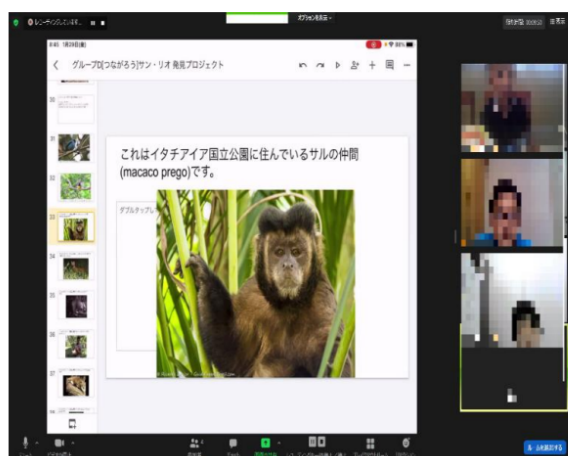
児童の事前のアンケートをもとに「観光・食べ物」、「歴史・行事」、「生活」、「自然」の4つのグループに分け、それぞれのグループがテーマに沿って、サンパウロやリオデジャネイロのことを遠隔で協働し、主体的に調べ、話し合い、発表を行った。活動中は主に各グループがブレイクアウトセッションに分かれての活動だったため、各グループに両校の教員が一人ずつついて、指導を行った。また資料作成には google スライドを使用し、合同で授業ができないときにも各グループで分担をし、資料作成を進めながら学習を行った。授業形態については他の部会と同様に行った。



実践の様子①（生活グループの話し合いの様子）



実践の様子②（生活グループの発表準備の様子）



実践の様子③（自然グループの資料づくりの様子）

O2時間目(総合)② 2/10(水)

つながろう・サン・リオ発見プロジェクト

今日の学習のめあて・よりよい発表のための準備をしよう。
今日は、サン・リオ発見クイズをみんなで考えよう！

クイズをつくる時の考える時のポイント！

・相手の学校の子が調べた内容について、協力して、話し合っ
てクイズをつくる。

クイズを考える流れ

①だれの調べた内容について、
だれが中心に担当するのか決
める。

②担当に分けたクイズについ
て、順番にみんなで話し合っ
てクイズをつくる。
(話し合いを中心にする。)

協力して、たくさん話し合おう！！

実践の様子④（本時の課題確認）

③中学校部会（中学部全学年・総合的な学習の時間）

（研究授業・2021年2月19日（金）実施）

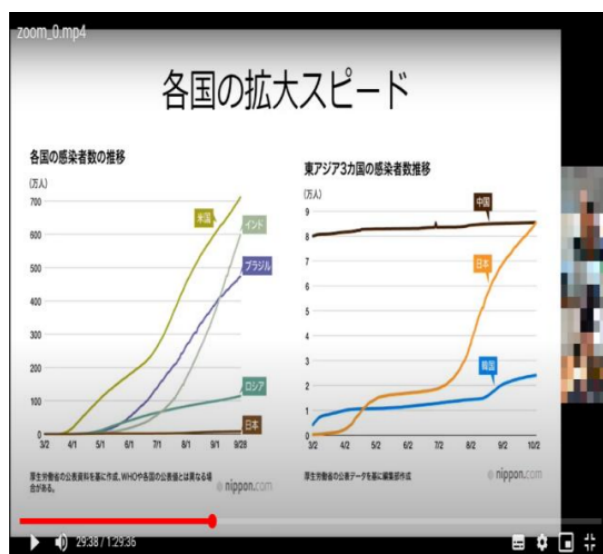
単元名：「新型コロナウイルス調べ」

○実践の概要

各グループを3人で編成し、それぞれのグループがテーマに沿って、調べ、学習を進めた。またこの実践では他のグループの学習を参考にしたり、プレゼンテーション能力をさらに高めたりするために途中に2回の中間発表を行うなどの工夫を行った。また中学部では、総合的な学習の実践以外にも「ビブリオバトル（本の紹介）」、「ムビリオバトル（映画の紹介）」、国語の討論の学習など年間を通して、遠隔によりリオデジャネイロ日本人学校の生徒と積極的に交流を行ってきた。



実践の様子①（生徒が作成した資料①）



実践の様子②（生徒が作成した資料②）